

午 後

# 問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午後の試験問題数は 64 問で、解答時間は 1 時間 55 分です。

医学一般

問題 57 心臓に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 心臓から一回に送り出される血液量は約300mlである。
- B 大動脈は右心室から出ている。
- C 肺動脈には静脈血が流れている。
- D 左心房と左心室の間に僧帽弁がある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 58 人体の構造に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 坐骨神経は大腿部を走行している。
- B 橈骨神経は下腿部を走行している。
- C 正中神経は上腕部を走行している。
- D 総腓骨神経は前腕部を走行している。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 59 人体の組織・細胞とその働きに関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 白血球――酸素運搬
- 2 膵臓――インスリン分泌
- 3 尿細管――水・電解質再吸収
- 4 水晶体――焦点調節
- 5 肺胞――ガス交換

問題 60 疾患とそのアルファベット略字に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 重症急性呼吸器症候群――SARS
- 2 後天性免疫不全症候群――AIDS
- 3 筋萎縮性側索硬化症――SLE
- 4 外傷後ストレス障害――PTSD
- 5 性行為感染症――STD

問題 61 寝たきりの高齢者にみられる次の状態のうち、速やかに対応しなければならぬものとして、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 顔や手にみられる境界明瞭な褐色の「しみ」
- B 口唇チアノーゼ
- C 安静時喘鳴
- D 血圧120/65mmHg

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 62 がんに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高齢出産や少産の者は、乳がんのリスクが高くなる。
- B 肺がんのうち扁平上皮がんは、喫煙との関係が深い。
- C 我が国では前立腺がんが増加している。
- D 膵臓がんは、胃がんに次いで治療成績はよい。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 63 脳血管障害に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 脳出血（脳内出血）は、基底核部に好発する。
- B 脳梗塞は、加齢により発症が増加する。
- C くも膜下出血の頭痛は、発症後二、三日でピークに達する。
- D 頭部外傷は、慢性硬膜下血腫の原因となることがある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 64 糖尿病に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 三大合併症とは、腎症、網膜症、末梢神経障害である。
- B 自覚症状がなければ薬物療法は適用にならない。
- C 生活習慣病とされるのは1型である。
- D 生活習慣を改善しても、遺伝的素因のある人は発病を免れない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 65 疾患とその特徴に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 変形性膝関節症――痛覚鈍麻
- 2 緑内障――――眼圧の上昇
- 3 メニエル病――――回転性めまい発作
- 4 血友病――――血液凝固因子の欠損
- 5 バセドウ病――――頻脈

問題 66 疾患等に関する次の組み合わせのうち、因果関係のないものを一つ選びなさい。

- 1 大腸がん――――腸閉塞
- 2 肝硬変――――食道静脈瘤
- 3 高尿酸血症――――痛風
- 4 前立腺肥大症――――尿管結石
- 5 胃潰瘍――――ヘリコバクター・ピロリ

問題 67 次の疾患のうち、動脈硬化が関与しているものとして、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 労作性狭心症
- B 気管支喘息
- C 一過性脳虚血発作
- D 逆流性食道炎

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 68 次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

高血圧症の原因となる食生活としては、塩分の摂取「A」が挙げられる。

また過度の緊張やストレスも、血管を「B」させて血圧を上げる。

特に脳卒中は、血圧が「C」ほど起こりやすい。

A        B        C

- 1 過多――拡張――低い
- 2 過多――収縮――高い
- 3 過多――収縮――低い
- 4 不足――拡張――低い
- 5 不足――拡張――高い

## 精神保健

問題 69 老年痴呆によく見られる状態に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「ものを盗まれた」などという被害妄想が見られる。
- B 自宅にいるのに「家に帰る」と言って出かけようとする。
- C 死んだ人を生きていると思って「会いに行く」と言う。
- D 場所や日時を尋ねると正しく答える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 70 高齢者のせん妄に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 幻覚や錯覚を伴うことが多い。
- 2 脱水や感染が誘因となることがある。
- 3 夜間に多い。
- 4 入院中よりも退院後に起こることが多い。
- 5 意識レベルが低下している。

問題 71 うつ病に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 抑うつ気分は、夕方よりも朝の方が強い。
- B 症状として、誇大妄想が見られる。
- C 顔面の表情がなくなる場合、仮面うつ病という。
- D 抑うつ状態に対して、家族や友人は励まし続けることが重要である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 72 疾患とその特徴に関する次の組み合わせのうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A てんかん――脳神経細胞の過剰放電
- B 躁うつ病――意識障害
- C 心因反応――内因性精神障害
- D 自閉症――脳機能障害

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

## 介護概論

問題 73 介護福祉士に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 介護の業務を行っている者は、だれでも「介護福祉士」と名乗ってよい。
- B 介護福祉士として通算5年以上の実務経験を有する者は、介護支援専門員実務研修受講試験の受験資格がある。
- C 介護福祉士は、利用者及びその家族に対し、介護に関する指導・助言を行ってはならない。
- D 介護福祉士の資格がなくても、指定介護老人福祉施設の介護の業務に就くことができる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 74 介護従事者に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護者の尊厳の保持を重視して、日常生活を支援する。
- B 要介護者の身体的機能の維持・改善にとどめ、精神活動の向上に関する支援は行わない。
- C 要介護者の自己実現に向けた支援を行う。
- D 重度の障害を有している要介護者に対しても、社会参加を促す支援を行う。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 75 利用者が意識を失って急に倒れた場合、介護従事者がまず最初に対応すべきこととして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 仰向けの体位にする。
- 2 気道を確保する。
- 3 心臓マッサージを行う。
- 4 肩を軽くたたきながら、呼びかけをして意識状態を確かめる。
- 5 胸郭の動きは十分か、呼吸音は聞こえるかを観察する。

問題 76 記録と情報の共有化に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護者の生活支援には、複数の職種がかかわるため、共通して使用できるケース記録や連絡ノートなどを用いることも情報の共有化に役立つ。
- B 略語を用いる場合は、事前に、関係する職種間で共通理解をしておく。
- C 個人の介護記録は、情報の共有化を図るため、だれもが気軽に見ることができるような場所に保管する。
- D 要介護者の訴えと、介護従事者によって観察された事実とは、区別して記録する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 77 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 施設サービスは、利用者に安心とよりよい心身の状態をもたらすことを目指す。
- B 施設サービスでは、利用者の今までの生活習慣を尊重する。
- C 短期入所生活介護は、一時的な入所なので、利用者が生活になじめなくても仕方がない。
- D 通所介護は、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図る。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 78 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護従事者は、利用者に関する医師への連絡を家族に全面的に依頼する。
- B 保健師は、福祉事務所に配置するよう社会福祉法に定められている。
- C 言語聴覚士は、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者に言語訓練などや、そのための検査及び助言、指導などの援助を行う。
- D 作業療法士は、医師の指示がなくても、作業療法を開始することができる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 79 介護従事者の感染予防に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護者の血液に触れた手袋は、外側の汚れた方が内側になるように裏返して外す。
- B 訪問先では、介護活動の前後に手洗いや手指の消毒を行う。
- C 口腔を水又はぬるま湯ですすげば、含嗽と同じように気道感染の予防はできる。
- D 要介護者が咳や痰などの風邪の症状がある場合、介護従事者は要介護者の気持ちに配慮してマスクをつけない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 80 要介護者とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護者の状況を早く把握するために、矢継ぎ早に質問する。
- B 会話をするときには、要介護者の言葉だけでなく、語調や表情にも気をつける。
- C ベッドで横になっている要介護者と会話するときには、同じ目の高さになるような姿勢をとる。
- D 声が小さく、言葉が聞き取れないときでも、失礼になるので聞き返さない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

## 介護技術

問題 81 コミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 相手に関心を持っていることを示すには、誠実な態度で相手の方へ少し体を傾ける姿勢などが好ましい。
- B 共感的理解のためには、相手の話したくない部分も含めて聞き出すようにする。
- C 相手の話の腰を折らず、じっくり耳を傾けて聴く。
- D メッセージの伝達経路には、言語的チャンネルと非言語的チャンネルがあり、非言語的チャンネルがより多くを占めるといわれる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 82 介護従事者の対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 身体機能が低下し、生活上の障害を招きがちなる者には、身体機能の維持・拡大を目指した生活を送るよう助言する。
- B 社会的役割が減少し、日常生活が無気力になりがちなる者には、生きがいを支援する。
- C 状況の理解や判断に時間がかかりがちなる者には、その意向を反映させることなく、介護従事者の考えで支援する。
- D 感情をコントロールする力が弱くなり、感情をそのまま表現しがちな者には、その言動を気にかける必要はない。

(組み合わせ)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | A | B |
| 2 | A | C |
| 3 | A | D |
| 4 | B | C |
| 5 | B | D |

問題 83 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 寝具は発汗や不感蒸泄により湿潤するので、こまめに乾燥させる。
- B 購入したばかりの肌着は、一度洗ってから使用する。
- C 衣類についた血液は、直ちに熱い湯で洗う。
- D 感染症の人の衣類は、別に分けて洗濯すれば感染症の種類を問わず消毒の必要はない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 84 外出時の車いす介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 車いすから乗用車へ移乗する場合は、原則として患側から座席に移るようにする。
- B 電車を利用する場合は、事前に利用する駅に連絡しておくといよい。
- C 短時間の停止の場合は、ブレーキはかけなくてもよい。
- D 電車に乗る場合は、車いすを電車に対して直角に向け、前向きで乗車する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 85 脱水に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 高齢者は、喉の渇きに対する感覚が鈍くなり、脱水状態になっても気がつかないことがある。
- 2 脱水の徴候の一つとして、尿量の減少がある。
- 3 下痢は脱水の一因となるので、下痢の有無に留意する。
- 4 脱水の確認方法の一つとして、腋下の湿り具合の観察がある。
- 5 三度の食事をとっていれば、食事のとき以外に水分をとらなくてもよい。

問題 86 排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 歩行が不安定な場合、夜間は転倒の危険性があるので、ポータブルトイレを使用することがある。
- B ベッド脇に置くポータブルトイレは、介護者が扱いやすいことを優先して、身体に合わなくても、できるだけ小型で軽いものを選定する。
- C 女性尿器での排尿が困難な場合には、差込み便器を用いることがある。
- D 膀胱留置カテーテルを挿入している場合は、尿道口周囲の清拭や洗浄は必要ない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 87 要介護者の衣服とその着脱の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護者の衣服は、汚れが目立たないように濃い色調の物にする。
- B 臥床したままでの着脱の介助では、前開きの上衣が適している。
- C 要介護者の衣服は、介護従事者にとって介助しやすい物を優先する。
- D 要介護者が、可能な限り自力で着脱できるよう声かけをする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 88 入浴の介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 入浴前には、体温や血圧の状態、食事時間や排泄の有無、気分などを把握する。
- B 身体の洗いは、原則として中心から末梢に向かって洗う。
- C シャワー浴では、介護従事者の手で湯の温度・湯圧を加減しながらかけていく。
- D 高齢者は、皮膚の乾燥・掻痒が生じやすいので、十分に石けんを含ませたタオルで強くこすり洗いする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 89 受診の介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 医療機関の紹介を求められた場合は、介護従事者自身が利用している医療機関を紹介し、受診させる。
- B 受診に先立って、医療機関までの交通手段や階段・エレベーターの有無などを確認しておく。
- C 医師の質問に対しては、介護従事者が常に中心となって答える。
- D 処方された薬の内容、服薬方法について把握し、受診後、説明されたとおり実行しているかを確認する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 90 高齢者の食事介助に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 便秘気味の人には、繊維質が少なく、できるだけ消化のよい食材を選ぶ。
- B 嚥下が困難な人の介助で使用される増粘剤は、入れ過ぎるとかえって飲み込みが悪くなるので、濃度の調節に留意する。
- C 咀嚼や嚥下が困難な人には、一口量を減らすなど工夫して、喉の動きを確認しながら行う。
- D 顔面の片側に神経麻痺がある場合、食物残渣は健側に残りやすいので、特に健側の口腔内の清潔に注意する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 91 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 福祉用具は、利用者の自立を支援するためのものであり、介護者の負担を軽減するためのものは含まない。
- B 高さが調節できるベッドを活用することによって、ベッドから車いすへの移乗が容易になる。
- C T字型つえの長さは、足の横前方15cmの所につえをついて、肘が90度の屈曲位になる長さとする。
- D 体位の保持に用いるクッションは、耐久性に富み、衛生的であることなどを考慮して選び、部位や姿勢によって使い分ける。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

## (介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 92 から問題 94 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Kさん（85歳・女性）は、4年前に脳梗塞で3か月入院したが、歩けるようになって退院し、自宅で一人暮らしを続けている。

現在、要介護1で、訪問介護サービスを週2回、市の配食サービスの昼食を週5日利用している。また、週1日は近くのデイサービスセンターに通っている。高血圧症のため、4週間に1回は近くの診療所で降圧剤の処方を受けている。

最近、訪問介護員が来ている間にも眠っていることがある。本人は、「年齢のためトイレが近く、夜中に何度も起きるので眠れない」と訴えている。会話中にもぼうつとしていることが多く、表情も乏しくなったように思われる。配食サービスの食事も「おいしくない」と残していることが多い。

3人の息子とその家族は他県に住んでおり、2か月に1度帰っている様子である。近所には親戚など頼るところはないが、「自宅がいい」と住み続けている。

- 問題 92 訪問介護員によるKさんへの援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。
- A トイレが近く眠れないという訴えをよく聞き、日中及び夜間の睡眠と排尿の状態を確認する。
  - B 配食サービスの食事が「おいしくない」と残すので、食塩1日当たり20gを想定した味付けの食事を作る。
  - C ぼうつしたり、表情が乏しい状態が見られるようになったことについて、サービス提供責任者に報告する。
  - D Kさんが話しかけやすいよう配慮し、家事を援助しながら会話の機会をできるだけ多くとるようにする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 93 訪問介護員によるKさんの家族への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 今後、入院等の不測の事態が生じることも考えられることから、息子たちの連絡先を確認する。
- B Kさんに一人暮らしをさせることは介護放棄に当たると判断し、息子たちに同居することを勧める。
- C 最近のKさんの状態から、一人暮らしが困難になるのではないかと判断して、サービス提供責任者に相談する。
- D サービス担当者会議でKさんの状況を説明し、息子たちへの対応について相談する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 94 Kさんの健康管理の観点から訪問介護員が行う援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 排尿状態を把握し、夜間頻尿の原因を特定して、本人に伝える。
- B 表情や会話の内容を注意深く観察する。
- C 健康上の不安について、かかりつけ医に相談するよう本人に勧める。
- D 降圧剤の服用を続けているかを確認する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

## (介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Mさん（80歳・男性）は、10年前に軽い脳卒中で倒れ、その後、2回再発した。介護者は妻（74歳）と独身の娘（54歳）である。最近では介助しないと移動もしなくなり、ベッドにいたることが多くなった。妻がポータブルトイレへの移乗や、食事の際の食卓までの歩行を介助するようになってきた。言葉は聞き取りにくく、時間がかかるが、簡単な会話は成り立つ。

夫婦関係も親子関係もよい。過剰と思えるほど、二人で一生懸命に介護をしている。妻は膝関節に痛みがあり定期的に通院している。娘は会社員であり、日中は家にいない。何かあれば近所のかかりつけ医に相談している。その医師の勧めで、寝たきりにしないためにも、所定の手続きを経て週1回の訪問介護が開始された。

問題 95 訪問介護員の援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Mさんとゆっくりと会話し、簡単に答えられるような質問をする。
- B 介護の方法や内容について、Mさん、妻、娘から情報を得る。
- C 家族の介護意欲を失わせないために、Mさんへの介助は家族に任せる。
- D 脳卒中の再発予防のため、食事の内容を観察する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 96 Mさんを寝たきりにしないために、訪問介護員が行う本人及び家族への支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 食卓での食事を継続するよう助言する。
- B 通所介護の利用について情報を提供する。
- C 妻の膝関節への負担を少なくするため、ポータブルトイレからおむつの使用に切り替えるよう助言する。
- D 居宅内での自立性を高めるために、まず、全面的な住宅改造について提案する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 97 家族が介護を継続していくための訪問介護員の支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 援助を行うときには、家族に介護の知識と技術を身につけてもらうために、手順や理由等を説明する。
- B 家族の介護上の質問には、どんな些細なことでも、誠意を持って対応する。
- C Mさんの残存機能・意欲を引き出すよう、移動及び移乗の適切な介助の方法を指導する。
- D 妻の介護負担を軽減するために、娘に離職を勧める。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

### (介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。

#### 〔事例〕

S さん（72 歳・男性）は、長年腕利きの植木職人として現役で働いてきたことを誇りとしている。趣味は、カラオケで歌うことであった。15 年前から糖尿病で、食事療法をしてきた。2 年前に脳梗塞により左片麻痺となった。思うように動かない自分の身体に苛立ち、何事にも消極的になっていた。

また、動くことを不安がり、日常生活動作のほとんどを妻に依存する生活となった。

妻が体調を崩したため、2 か月前に特別養護老人ホームに入所してきた。何かにつけ「どうせ俺の人生だ。勝手にさせてくれ」と言い、施設の行事にも参加しない。食べることに関心が集中し、売店で買ったお菓子を隠れて食べるなど、糖尿病の食事制限は守られず、合併症の危険性も高い。最近ではトイレまでの移動に時間がかかり、排泄の失敗も目立ち始めた。

問題 98 特別養護老人ホームの介護職員による S さんのアセスメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 脳梗塞の後遺症を持つ自分を受け入れることができず、投げやりになっていると考えられる。
- B 病気のため身体が不自由となり、仕事ができなくなったことで、自分の役割が失われたと感じていると考えられる。
- C 「勝手にさせてくれ」ということは、自立したいという気持ちの表れであると考えられる。
- D 排泄の失敗は、移動能力の低下が影響していると考えられる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 99 介護職員による S さんへの援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 毎日の生活の中に、リハビリテーションの視点を取り入れた介護を行う。
- B 「勝手にさせてくれ」と言っているので、できる限り希望を優先し、行事などの声かけはしないようにする。
- C 売店でお菓子を買って食べるなど、食事制限が守られていないことを看護師に報告する。
- D トイレまでの移動に時間がかかるようになったので、早速、車いすの使用を開始する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 100 介護職員による S さんの日常生活の活性化への援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A S さんが好きだった歌と一緒に歌うよう誘ってみる。
- B 身体が不自由になり、何事にも興味や関心が持てなくなっているため、自分から言ってくるまでそっとしておく。
- C 植木職人として長年仕事をしてきたので、園芸クラブに誘うことの適否について検討する。
- D 食事に強い関心を示しているため、医師の意見を聞いたうえで、月 1 回の外食行事への参加を働きかける。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

## 形態別介護技術

問題 101 高齢者の精神活動に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A いわゆる「閉じこもり」は、目的を見失って意欲が減退し、気分が抑うつ的になるなど精神活動の低下によって生じることがある。
- B 施設における介護では、画一的な生活プログラムがすべての利用者の精神活動を活性化させる。
- C 虚弱高齢者は、寝たきりで、精神活動の低下が著しいために手厚い介護を要する。
- D 寝たきり高齢者は、無気力な状態やうつ的な状態となり、睡眠障害をきたすなど精神活動が低下する傾向がある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 102 介護従事者の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護者が、車いすから勝手に降りないようにY字型抑制帯を使用する。
- B 要介護者が、ベッドから自分で降りることができないようにベッド柵で囲う。
- C 要介護者の殿部に青あざを認めたので、虐待の可能性もあると考え、ケアチーム内でその情報を共有する。
- D 転倒の危険性の大きい高齢者への対応として、夜間照明について、職員間で協議する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 103 寝たきり高齢者の合併症とその予防について、適切なものの組み合わせを一つ  
選びなさい。

- A 肺炎―――仰臥位での食事
- B 褥瘡―――体位変換
- C 関節拘縮――安静臥床
- D 尿路感染――水分摂取

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 104 痴呆症状のある利用者への介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適  
切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 自らの要求を言葉で伝えられないことがあるので、表情や顔色などをよく観察した。
- B 同じ話を繰り返しても、嫌な顔をしないで、その都度話を聴いた。
- C 入所したばかりで、興奮して落ち着かないので、家族に、家を思い出させる物は持ち  
帰ってもらった。
- D 食後に、テーブルをふいていたところ、利用者の一人が、同じようにテーブルをふき  
始めたので、感謝を伝え一緒に行った。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 105 視覚障害者の介護に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 手引き歩行では、本人の正面に立ち、両手を引いて介助することが基本である。
- B 部屋の様子を説明するときは、出入口など基点になるところを理解してもらい、そこを基準に説明する。
- C ドアを通るときは、利用者自身がドアの引き手やノブを持つことができる位置に立ってもらおう。
- D 視覚障害のある高齢者は、外出すると危険なので、極力室内で過ごせるようにする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 106 聴覚障害者や言語障害者への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 聴覚障害者には、実物などを示しながら、表情豊かに接する。
- B 失語症には、五十音表を活用してコミュニケーションを図るようにする。
- C 言語によるコミュニケーションが難しくなった人には、簡単な図や絵、写真を使って伝える方法もある。
- D 重度の失語症のある人とのコミュニケーションでは、「はい」「いいえ」で答えることができるような質問をする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 107 肢体不自由者の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 片麻痺のある人の歩行に付き添うときには、麻痺側に立つ。
- B 関節リウマチのある人には、自助具は使用しない。
- C 寝たきり状態の場合でも、残存機能を活用しながら体位変換を行う。
- D 脊髄を損傷している人は、知覚障害が起こることが多いので、褥瘡などに注意する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 108 呼吸器機能障害者の介護に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 入浴は、浴槽に頸部までつかないように助言する。
- 2 食事は、少量ずつ何度かに分けてゆっくり食べるように助言する。
- 3 歩行は、休みを取りながらゆっくり歩くように助言する。
- 4 掃除は、こまめに行い、掃除機の排気に留意するように助言する。
- 5 室内が乾燥している場合、加湿して適度な湿度にするように助言する。

問題 109 精神障害者への支援に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 幻覚・妄想には、その内容を否定し、現実を理解させるよう接する。
- B 抑うつ状態に対しては、励ましたりせず、日常生活での声かけや援助を通じて回復を待つよう接する。
- C 興奮状態にあるときには、その背景に不安などがあるので、気持ちをくみ取り、安心感を持てるよう接する。
- D 身体に関する訴えは、精神的問題とは関係がないので気にかけなくてもよい。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 110 知的障害のある利用者への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 知的障害児の親の障害受容には、同じ障害のある子どもをもつ親同士の交流も有効である。
- B 知的障害児が排泄・更衣・食事などの日常生活習慣を身につけるためには、厳しく叱って何度も繰り返し行わせる。
- C 思春期の利用者には、異性との交流や交際はしないように指導する。
- D 知的障害があつて判断を周囲に委ねる場合でも、本人の意向を尊重する方向で支援する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 111 内部障害者の介護に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心臓機能障害者は、活動や水分の制限などで便秘になりやすいため、食事や排泄の工夫をする。
- B 腎臓機能障害者の食事管理では、カリウムの制限は必要であるが、塩分の制限は必要でない。
- C 人工肛門は、本来の肛門に近い位置にあるほど水様便になりやすいので皮膚の保護に留意する。
- D 尿路ストマは、入浴時に適切な装具の装着が必要である。

(組み合わせ)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | A | B |
| 2 | A | D |
| 3 | B | C |
| 4 | B | D |
| 5 | C | D |

## (形態別介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。

〔事例〕

Yさん（78歳・男性）は、70歳のときに脳梗塞で右半身に麻痺を生じたが、補装具を利用して室内歩行が可能となり、自宅で妻と2人で生活していた。今から4か月前、脳梗塞が再発し、入院した。

そして2か月の入院の後、退院するに当たって、Yさんは自宅での生活を希望したが、妻の腰痛が悪化し、介護老人保健施設に入所となった。入所当初、妻は頻回に来所した。妻が近くにいると車いすに乗せてほしいと頼んだり、積極的に機能訓練を行っていた。

現在は、妻の来所の回数が減り、Yさんは機能訓練の時間以外はベッド上で過ごす時間が増え、「妻はどうしたんだろう」「もう家には帰れないかもしれない」と介護従事者にもらすようになった。

現在の状態は、右半身麻痺に加え、左半身に不全麻痺があり、ベッド上での起き上がりや座位保持及び食事以外は介助が必要である。

問題 112 Yさんの現在の麻痺の全体像を表すものとして、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 対麻痺
- 2 交代性左片麻痺
- 3 単麻痺
- 4 右片麻痺
- 5 両側片麻痺

問題 113 Yさんが車いすに移乗する際の介助方法に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 麻痺の強い右側に、車いすを置いて移乗する。
- B Yさんに上半身を前傾してもらい、立ち上がりを介助する。
- C 立ち上がりを介助するときは、主に左下肢に体重をかけてもらい、両膝を支える。
- D Yさんの自立を促すため、介助はしない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 114 介護従事者の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 機能訓練を行えば麻痺がなくなることを説明し、積極的に訓練するよう励ます。
- B 面会回数を増やすことができないか、妻とよく相談する。
- C 妻の負担を十分考慮しながら、自宅への外出の可能性を検討する。
- D 面会が減った理由を妻に尋ねないで、腰痛が悪化したためとYさんに話す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

## (形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

### 〔事例〕

S さん（88 歳・女性）は、痴呆症状があり特別養護老人ホームに入所して 7 日目である。20 年前に夫に先立たれ、子どもがなく、一人暮らしをしていた。自分の居室にいることを好み、他の利用者とのコミュニケーションはほとんどない。しかし、頻繁にナースコールを押し、介護職員とのかかわりを求めている。排泄は、トイレで自分で行っているが、水を流し忘れることがある。また、食事は、ゆっくりであるが自分でとることができない。入浴時、脱衣室では興奮状態になるため、介護職員は入浴の介助には苦慮している。近所に住む妹が面会に来て、だれなのか理解できていないようである。

問題 115 S さんが新しい生活環境にできるだけ早く適応するための介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A S さんが好きなことや興味があることを知るため、生活状態をよく観察する。
- B 頻回に声かけをし、コミュニケーションを図るようにする。
- C 今までのことは忘れるよう指導し、新しい環境に慣れるように励ます。
- D 夜間のナースコールが頻繁なときは、しばらく話し相手になる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 116 Sさんの日常生活の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 頻回にナースコールを押すのは、さみしさや不安の表れではないかと考えた。
- B 排泄については、継続的な見守りが必要であると判断した。
- C 食事のスピードが遅く時間がかかるので、早く食べるように促した。
- D 妹のことを「友達です」と言っていたので、訂正した。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 117 Sさんの入浴の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 入浴時の表情や言動などをよく観察する。
- B 自宅にいたときの入浴の様子を妹に聞く。
- C 入浴時は、なるべく同じ介護職員が介助する。
- D 興奮状態になるのは入所して間もないためと判断し、個別に対応することはしない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

### (形態別介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

#### 〔事例〕

Yさん（75歳・男性）は、妻と25年前に離婚し、それ以来一人で猫と借家で暮らしている。子どもは4人いるが、全員県外に居住し全く交流はない。台所、トイレ（和式）は土間にある。布団は万年床になっている。

老年痴呆との診断を受けている。両下肢に筋力低下があり、立ち上がりや歩行時にふらつきがある。要介護2と認定され、訪問介護（生活援助）を週3回、通所リハビリテーションを週1回利用している。人が大勢いる所は楽しいと、よく外出する。買い物が好きで不要と思われるものを大量に購入しており、冷蔵庫はいつも一杯である。

通所リハビリテーションを利用しているときに、入浴とひげそり、爪切りをしている。尿意と便意はあり、排便はトイレを使用しているが、パンツ型紙おむつはしばしばぬれている。

洗顔や歯磨き、更衣には関心がない。起床や食事は、気の向いたときに気ままにしている。

10日程前に土間で転倒して左肩を打撲し、痛みがあるようだが、放置している。

問題 118 訪問介護員によるYさんの排泄の介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A パンツ型紙おむつがぬれていたのを、適宜、自分で取り替えるように、再三、厳しく注意した。
- B 尿意があるので、トイレ誘導を試みた。
- C 排尿の自立を目標とし、排尿について情報を収集し、記録した。
- D 外出するときは、水分をとらないように助言した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 119 Yさんの訪問介護に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 買い物に同行し、必要な生活用品の購入について助言する。
- B 冷蔵庫の中の食品管理は、プライバシー保護のため本人に任せる。
- C 猫は不潔の元になると考え、手放すように助言する。
- D 布団を干し、シーツを交換する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 120 Yさんに対する訪問介護員の今後の支援のあり方に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 下肢筋力の低下防止と排尿習慣の確立のため、洋式トイレのある家へ引っ越すことを勧める。
- B 金銭管理に不安があるので、生活状況の全般について情報を収集する。
- C 子どもに連絡をとり、同居するよう指導する。
- D 左肩の痛みの具合をYさんに確認し、受診についてサービス提供責任者に相談する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |